

第23期 メンバー募集のご案内

2023年11月17日(金)スタート

企業価値を高める“モノづくり”のための“品質革新”と“マネジメント向上”をめざす
品質保証部門の責任者・マネジャー・次世代リーダー・スタッフの相互啓発と共同研究会

品質革新マネジメントフォーラム

開催にあたって

近年の大きな社会変容の渦中において、このところの急激な円安の流れに沿って製造業の国内回帰が重視されつつあります。一方、SDGs、ESG等サステナブルなグローバル競争の中、あらためて“ものづくりの真髄である「品質」こそが企業価値を左右する大きなファクター”と言えましょう。

当フォーラムは2000年の発足以降、継続して研究討議活動を重ねて参りました。第23期を迎えるにあたり、品質保証部門への期待・役割が益々増大する中で“攻めの品質”を合言葉に新たな付加価値創造を目指し、互いにオープンな議論を通じて絶え間ないイノベーションに挑戦して参ります。是非とも熱意ある多くの関係各位のご参加をお待ち申し上げます。

*正式入会をご検討中の方は、第1回例会に限り無料で体験参加頂けます(要事前予約)。

開催期間

期間：2023年11月～2024年8月(全10回)

日時：「年間プログラム」の開催日程に沿って開催(原則13:00～17:00)

開催：会場開催(東京・田町周辺の会議室)を基本としオンライン(Zoom)との併用開催も予定

*状況により開催方法が変更になる場合もございます。

第1回例会 日時：2023年11月17日(金) 13:00～18:00

基調講演 竹中工務店における品質経営 ～竹中品質経営(TQM)の概要とその実践～

(ご講演) ㈱竹中工務店 経営企画室 TQM推進室長 川合 拓 氏



略歴 1990年4月(株)竹中工務店入社後、2013年 東京本店設計部副部長、18年 東京本店設計部部長、23年 経営企画室 TQM推進部長、現在に至る。
(資格) 一級建築士、技術士(建設部門)。

【オリエンテーション】 前期活動報告/今期討議テーマのポイント・概要説明/テーマ別グループ討議の仮体験、など

第2回例会 合宿研究会 日時：2023年12月8日(金)～9日(土) 静岡県御殿場市方面での宿泊研修

【希望テーマ別グループ討議(第1回)】

希望テーマアンケートを実施後、各グループに分かれて、メンバー各社の現状と課題などを共有した上で、各自・各社の知見・実践事例を持ち寄り、課題解決に向けた方策について以降、最終例会まで継続して集中討議を進めます。

【第23期の5つのグループ討議テーマ】

- 本社部門・事業部門における品質保証部門の新たな役割
- 高い品質マインドが実現する理想の品質保証
- ～イノベーションや比類なきJAPAN QUALITYの実現～
- 次世代を担う品証担当者による、主体的なエンゲージメント向上委員会
- 未来の経営を牽引する品質保証、価値を創出する「攻めの品証」のあり方
- 経営と現場をつなぐリスクマネジメント

第3回例会 日時：2024年1月18日(木) 13:00～17:00

アドバイザー講演 ものづくりの真髄 ～品質こそ生命～

(ご講演) オフィスM企画 代表/ジャパンフーズ(株) 取締役 松浦 強 氏



略歴 オリンパス(株) 入社後、生産技術、研究開発、事業企画各部門を経て2002年 品質保証部長、06年 理事品質環境本部長(初代)、07年 役員待遇 主幹理事 品質環境本部長、10年 オリンパスメディカルシステムス(株) 常勤監査役、15年 ジャパンフーズ(株) 社外監査役、22年よりジャパンフーズ(株) 取締役(現任)。(外部関係歴任&資格) 日本品質管理学会理事、品質工学会理事、日本規格協会 COSCO幹事、ISO9001審査員補、経営品質協議会セルフアセッサ、前橋工科大学 客員教授など。

【希望テーマ別グループ討議(第2回)】

フォーラムの構成と運営要領

◆基本理念

本フォーラムは、参加メンバーの共同研究と相互啓発を通じて、品質革新に向けた実践方策、経営改革を目指した質の向上、人材育成等の諸問題を取り上げ、主体的にその見解と具体策を交流・討議し合うことを目的とします。

◆メンバー

本社・事業部・工場の品質保証部門、リスク管理、SDG's、ESG、環境・安全・衛生部門等の担当幹部、責任者、マネジャー、次世代リーダー、ご担当者まで、幅広い皆様を対象としています。

参加メンバーはギブ・アンド・テイクをモットーに主体的に研究討議に参加し、その成果はメンバー間で共有するものいたします。

◆例会日と例会連絡

原則として「年間プログラム」の開催日程に沿って開催（13:00～17:00）

例会の詳細は、事前にEメールにてご案内を差し上げます。

◆運営幹事（会社名50音順）

*メンバーの代表として本フォーラムの活動にご協力頂くとともに、グループ討議の進行・運営サポートを頂きます。

香取 知氏 グローリー(株) 品質保証本部 リテール品質保証部 品質保証2Gグループマネージャー

水谷 洋氏 コスモエネルギー HD(株) サステナビリティ推進部 リスクマネジメントG長

森馬 洋氏 小西化学工業(株) 理事 研究部 品質保証部担当

渡邊 淳氏 小林製薬(株) 執行役員 信頼性保証本部 本部長

小山 周一氏 小林製薬(株) 品質保証監査部 国際品質保証監査グループ 係長

寄口 孝行氏 (株)資生堂 品質保証部 品質管理推進2グループマネージャー

古荘 拓朗氏 (株)日立国際電気 品質保証本部 ソリューション品質保証部 主任技師

三島 浩一氏 三菱電機(株) リスクマネジメント統括室

臼井 剛氏 ヤマハ(株) 品質保証部 グローバル品質戦略グループリーダー

※ほか数氏ご依頼、ご検討中

◆アドバイザー *本フォーラムの活動に対し、適宜アドバイス・サポートを頂きます。

松浦 強氏 ジャパンフーズ(株) 取締役/オフィスM企画代表 (元オリンパス(株) 品質環境本部長)

原 博氏 H2 Lab.代表 (元富士フイルム(株) 環境・品質マネジメント部技術担当部長)

一柳 高人氏 MS2i 代表 (元コニカミノルタ(株) 環境経営・品質推進部品質推進グループ課長)

山田 透氏 (株)Bizitsパートナーズ シニアパートナー (元 コマツ 常務執行役員 品質保証本部長)

※10月末日現在

今期（第23期）の年間プログラム

開催日	内 容		
第1回例会 2023年 11/17(金)	<p>【基調講演】竹中工務店における品質経営の展開 ～竹中品質経営の概要とその実践～ (ご講演) (株)竹中工務店 TQM推進室長 川合 拓 氏</p> <p>【オリエンテーション：前期活動報告/今期討議テーマのポイント・概要説明/テーマ別グループ討議の仮体験、など】</p>		
第2回例会 12/8(金)・9(土)	<p>合宿研究会【希望テーマ別グループ討議（第1回）】</p>		
第3回例会 2024年1/18(木)	<p>【アドバイザー講演】ものづくりの真髄 ～品質こそ生命～ (ご講演) オフィスM企画 代表/ジャパンフーズ (株) 取締役 (元 オリンパス (株)品質環境本部長) 松浦 強 氏</p> <p>【希望テーマ別グループ討議（第2回）】</p>		
第4回例会 2/8(木)	<p>以降のプログラムについて</p> <p>参加メンバーの皆様の問題意識やグループ討議からの課題意識をもとに、運営幹事、アドバイザーと協議の上、適宜テーマ・ゲストを選定してまいります。</p>		
第5回例会 3/7(木)	<p>通常例会 通常例会は下記の構成で進めてまいります（時間配分は目安です）。</p>		
第6回例会 4/11(木)	<p>13:00 15:00 17:00</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>ゲスト講演またはメンバーによる品質話題提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 品証体制を取り巻く今日的課題の把握と整理 ● 先進の取り組み事例、アプローチ策 ● 専門家による品質革新の新しい潮流、他 </td> <td> <p>個別テーマに沿ったグループ集中討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加企業相互の事例交換 ● 課題解決方策の徹底追求 ● 他では聞けない知識の共有、他 </td> </tr> </table>	<p>ゲスト講演またはメンバーによる品質話題提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 品証体制を取り巻く今日的課題の把握と整理 ● 先進の取り組み事例、アプローチ策 ● 専門家による品質革新の新しい潮流、他 	<p>個別テーマに沿ったグループ集中討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加企業相互の事例交換 ● 課題解決方策の徹底追求 ● 他では聞けない知識の共有、他
<p>ゲスト講演またはメンバーによる品質話題提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 品証体制を取り巻く今日的課題の把握と整理 ● 先進の取り組み事例、アプローチ策 ● 専門家による品質革新の新しい潮流、他 	<p>個別テーマに沿ったグループ集中討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加企業相互の事例交換 ● 課題解決方策の徹底追求 ● 他では聞けない知識の共有、他 		
第7回例会 5/9(木)	<p>先進企業の第一線実務家や専門家等をお招きし、品質保証に関連する様々な視点からお話を伺います。その後、質疑・意見交換を通じて双方向のコミュニケーションを図ります。</p>		
第8回例会 6月中下旬(金/土)	<p>今期（第23期）は5つのテーマを挙げさせて頂きました。メンバーの皆様は各グループに分かれ各社の課題への取り組み等について意見交換をして頂きます。ホンネの議論の中から、新たなアイデア・次の展開へのヒントを探ります。</p>		
第9回例会 7/11(木)	<p>※日程等変更となる場合がございます。その際は速やかにご案内いたします。</p> <p>次回の最終発表会に備え、グループ別の集中討議</p>		
第10回例会 8/29(木)	<p>各グループより討議成果報告と全体共有～今後の研究活動推進に向けて</p>		

* 日程変更の際は速やかにご連絡申し上げます、あらかじめご了承ください。

今期（第23期）のグループ討議・5つのテーマのご紹介

グループ	討議テーマとポイント
A	<p>本社部門・事業部門における品質保証部門の新たな役割</p> <p>みなさんは、品質保証部門の存在意義を考えたことはありますか？ みなさんの会社にとって、品質保証部門が本来行うべき業務が遂行されていますか？ 社会の流れに沿って、品質保証のあるべき姿は常に変化しています。Aグループでは、このような流れの中で「品質保証の原点」に立ち返り、「品質保証部門の新たな役割とは何か」を皆様の経験談も交え、「ギブ&テイク」の精神で討議を進めてまいります。</p>
B	<p>高い品質マインドが実現する理想の品質保証 ～イノベーションや比類なきJAPAN QUALITYの実現～</p> <p>今後企業価値を高めるには、イノベーションを進め、比類なきJAPAN QUALITYを実現していくことが重要です。そのためには、品質保証部門のリーダーシップのもと関連部門が“高い品質マインド”をもって共同していくことが大事だと考えます。 品質保証部門が全社から頼りにされ、全社員に“高い品質マインド”を植え付け、さらに醸成していくにはどうしたら良いか。そんな品質保証部門の理想の姿を見出すために、各社、各自の課題や悩み、討議したいポイントを共有することから始め、皆で答えを見出していきましょう。</p>
C	<p>次世代を担う品証担当者による、主体的な「エンゲージメント向上委員会」</p> <p>前期まで、様々な角度から品証の人財育成の施策や思想を議論してきましたが、そこから導かれた提言は『管理者層が考える「ありたい姿』を反映した人財育成策になります。 一方で、次世代を担う品証担当者にとっては、品質における責任や嫌われ役、さらには求められる幅広い業務知識で、モチベーションを保ちにくくエンゲージメントが低くなった結果、上記育成策とギャップが生じると考えています。 そこで今期は、次世代を担う品証（40歳以下の非管理者層）の皆様と、そのギャップの認識及び分析を通じた主体的エンゲージメント向上、さらには会社と共に成長する事を目的とした管理者層への逆提言となるような議論をして行きたいと思えます。</p>
D	<p>未来の経営を牽引する品質保証、価値を創出する「攻めの品証」のあり方</p> <p>価値を創出し続けるには、組織間の対立構造ではなく、事業と品質軸との融合、複数の要求事項を両立させ最適解を求める力が、さらに重要となってきます。 事業としての「実現力」・各部署の「組織能力」を高めるには、現在の品証組織が抱える役割や義務から一旦離れ、非連続の【変革】も含めて品証がどう牽引していくか。自分が経営者だったらどのような将来構想（ありたい姿）を描き、各組織の質を高めていくか。これからの未来に求められる品質経営のあり方について議論し、「攻める品証」としての具体的な提言にしていきたいと思えます。</p>
E	<p>経営と現場をつなぐリスクマネジメント</p> <p>地球環境の変化やデジタル技術の進化等、未知の機会と脅威が増える中で、リスクマネジメントは企業の存続に欠かせない要素となりました。しかし、企業内のリスクマネジメント活動は分散し、連携が不足しているのではないのでしょうか。 経営陣から現場スタッフまで一体となった効果的なリスク対応が、製品・サービスの質を高めるために必要です。リスクからチャンスを引き出し、新たな価値を生み出すことに焦点を当て、企業の未来に向けたリスクマネジメントのあるべき姿を実現しましょう。</p>

※参加希望テーマアンケートを実施後、各グループに分かれ継続して集中討議を進めます。

例会	前期(22期)の活動経過
1	<p>(基調講演) ワクワクする未来に挑戦する会社へ 三洋化成工業(株) 代表取締役執行役員副社長 前田 浩平 氏 【オリエンテーション／前期活動報告／今期討議テーマポイント・概要説明／グループ討議仮体験】</p>
2	<p>【希望テーマ別グループ討議 (第1回)】</p>
3	<p>(アドバイザー講演) ものづくりの真髄 ～品質こそ生命～ オフィスM企画 代表/ジャパンフーズ(株) 取締役(元 オリンパス(株) 品質環境本部長) 松浦 強 氏 【希望テーマ別グループ討議 (第2回)】</p>
4	<p>(ゲスト講演) 品質不正の課題と処方箋 KPMGコンサルティング(株)アソシエイトパートナー 水戸 貴之 氏 【希望テーマ別グループ討議 (第3回)】</p>
5	<p>(ゲスト講演) 日鉄テックスエンジにおける品質管理 ～失敗学の導入と推進の取組み～ 日鉄テックスエンジ(株) 参与 品質管理部長 様 【希望テーマ別グループ討議 (第4回)】</p>
6	<p>(ゲスト講演) 顧客満足向上のためのQFDと社内展開 ～品質の確保・品質保証への活用～ CS-HK 代表 シニアコンサルタント 様 【希望テーマ別グループ討議 (第5回)】</p>
7	<p>(ゲスト講演) Dynamic Risk Management ～リスクから価値を生み出す理論と実践～ 三菱電機(株) リスクマネジメント統括室 様 【希望テーマ別グループ討議 (第6回)】</p>
8	<p>(合宿研究会) ヤマハ(株)イノベーションロードの見学と意見交換 【希望テーマ別グループ討議 (第7回)】</p>
9	<p>最終発表会に向け、グループ別に徹底集中討議</p>
10	<p>各グループより1年間の研究討議成果の発表会。終了後は懇親会</p>

メンバーの声 (ご参加アンケート、コメントより抜粋)

- 今期は久々のリアル開催・対面討議で、リモート開催に比べ会話には出さない雰囲気や発言以外のヒソヒソ討議なども出来、より深く理解しながらの討議ができたように思う。
自由闊達な雰囲気作りのもとでの討議を幹事のお二人が率先して進めていただけただけのお陰で、私自身も臆すること無く発言でき、その分得るものも多かったように感じた。
- 会社の組織構造が様々ある中、同じ品証といっても異なる立場からの意見や考えを聞くことができる本フォーラムのような機会は貴重。特に実務からマネジメントへ足を踏み入れつつある自分にとっては勉強になることも多く参加して良かった。
- 様々な切り口で参加各社の状況や皆さんのご意見を聞くことが出来、非常に学びが多い内容だった。参加各社の形態はB2B、B2Cの違いや、取扱製品の違いなどはあるものの、本社部門・事業部門の各品質保証部門の課題は、共通している部分があることも改めて感じる事が出来た。また、品質保証業務に於けるChatGPT活用の可能性について討議できたことも、新しいアプローチを感じる事が出来た。
- 品証部門においては経営と現場をうまく繋ぎ、製品品質だけでなくサービス、社会的責任も含めた事業全体の質を向上させていく役割が求められると思います。また、ChatGPTのように(もちろんそれに限らず)、新しい技術による品質課題の解決あるいは品質業務のDX推進というの今後は一つポイントになってくるかもしれないと感じた。
- 「褒められる」機会が少ない部門である。その中で、社内の品質保証部門メンバーのモチベーションを維持・向上させるために、討議した「品質部門の良さ」を、本社部門として各事業の品質保証部門に伝えていくことが、重要な役割と感じた。
- 「源流管理」を会社の組織や仕組み・プロセスだけでなく、課題/問題/解決策の「共感」に基づいて「いかに人と人の良好な関係を構築していくか」を視点とした討議に広がっていき、結構奥深い討議になりました。
- 「品質マインド」について新たな討議を開始し今後も継続していけたら、と考える。時代の変遷と共に「品質保証すべき範囲」が広がり「品質保証部門の役割」も拡大・変化していく中であらためて「品質マインド」について議論を深めることはとても有意義だと考える。

前期(第22期)ご参加メンバー一覧(主登録者および副登録者)*敬称略・純不同

UBE(株) 品質保証部 機能品品質保証グループ リーダー	(株)資生堂 品質保証部 品質管理推進2グループマネージャー
UBE(株) 品質保証部 製品安全グループ 主席部員	(株)資生堂 品質保証部
UBEエラストマー(株) ポリエチレン品質管理T TL	(株)資生堂 品質保証部
(株)クラレ ベクスター事業推進部 品質保証課 課長	住友化学(株) レスポンスシブルケア部(品質保証) 主席部員
(株)クラレ ジェネスタ事業部 商品管理部 品質保証グループ 主管	住友化学(株) 健康・農業関連事業品質保証室 主席部員
(株)クラレ イソブレンケミカル事業部 品質・開発統括部	住友化学(株) 情報電子化学品質保証室 主席部員
グローリー(株) 品質保証本部 品質管理グループグループマネージャー	セントラル硝子(株) 品質保証統括部 係長
グローリー(株) 品質保証本部 リテール品質保証部 品質保証2グループ 主任技師	セントラル硝子(株) 品質保証統括部 係長
グローリー(株) 品質保証本部 ソフトウェア品質保証部 品質保証2グループ主任技師	セントラル硝子(株) 川崎工場 品質保証部
コスモエネルギーホールディングス(株) サステナビリティ推進部リスクマネジメントグループ長	パナソニック(株) エレクトリックワークス社 品質・環境センター 品質企画部 部長
小西化学工業(株) 理事 研究部 品質保証部担当	パナソニック(株) エレクトリックワークス社 品質・環境センター 品質企画部 品質企画課
小西化学工業(株) 品質保証部 品質保証グループ チームリーダー	(株)日立国際電気 品質保証本部 主任技師
小林製薬(株) 執行役員 信頼性保証本部 本部長	(株)日立国際電気 品質保証本部
小林製薬(株) 品質保証監査部 国内品質保証監査グループ 係長	丸善石油化学(株) 品質保証部 部長
小林製薬(株) 品質保証監査部 国際品質保証監査グループ 係長	丸善石油化学(株) 品質保証部 品質保証グループリーダー
小林製薬(株) 品質保証監査部 国際品質保証監査グループ 係長	三菱電機(株) リスクマネジメント統括室
サンスター(株) 薬事・品質保証部品質保証グループ	(株)村田製作所 品質保証統括部 品質保証部
サンスター(株) 薬事・品質保証部品質保証グループ	ヤマハ(株) 品質保証部 グローバル品質戦略グループリーダー
	ヤマハ(株) 品質保証部 製品コンプライアンスグループ 主幹

参加要領

【事業コード：230314】

参加料

1社1~2名様でご参加の場合(主登録者+副登録者①)

正会員 (※税込み)	253,000円 (本体価格230,000円)	一般 (※税込み)	286,000円 (本体価格260,000円)
----------------------	-----------------------------------	---------------------	-----------------------------------

1社3名様でご参加の場合(主登録者+副登録者①+副登録者②)

正会員 (※税込み)	308,000円 (本体価格280,000円)	一般 (※税込み)	341,000円 (本体価格310,000円)
----------------------	-----------------------------------	---------------------	-----------------------------------

- *各社派遣されるご人数様により、参加料が上記2通りございます。
- *合宿研究会、見学会、懇親会等を開催の場合は、別途実費を申し受けます。
- *分割お支払い等も承ります。お気軽にご相談ください。
- *期の途中での副登録人数の変更は応じかねます。予めご了承下さい。

体験参加について

第1回例会(11/17)は、入会ご検討中の方に限り、正式申込前の体験参加が可能です。
ご希望の方は、お申し付けください(人数制限がございます)。

申込方法

- (1) Web：企業研究会ホームページからお申込みいただけます。
「お申込はこちら」からお申し込みください。

品質革新マネジメントフォーラム

- (2) Eメール：下記担当者宛に以下をお知らせください。
①御社名 ②郵便番号/所在地 ③主登録者のお名前(ふりがな)
④主登録者のご所属お役職 ⑤主登録者のメールアドレス
⑥主登録者の電話番号 ⑦副登録者のお名前(ふりがな)
⑧副登録者のご所属お役職 ⑨副登録者のメールアドレス
⑩副登録者の電話番号

お申込み・お問い合わせ

一般社団法人 企業研究会 担当：小野原(おのほら)

TEL：080-1393-5593 e-mail：onohara@bri.or.jp

〒110-0015 東京都台東区東上野1-13-7 ハナブサビル
https://www.bri.or.jp/hinsitu/